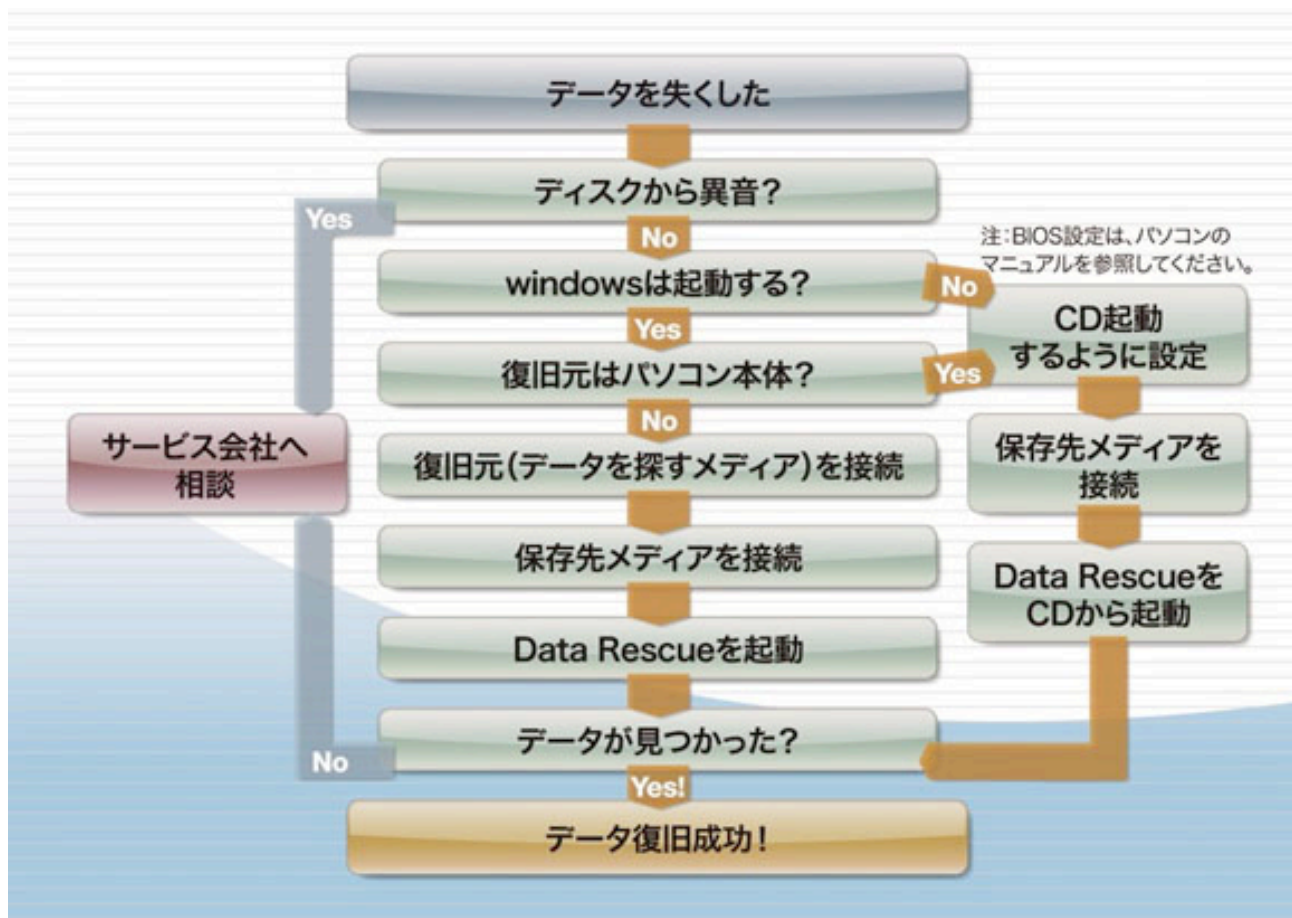


Data Rescue PC クイックガイド



はじめに

Data Rescue PC は、データを安全に復元する為に、復旧元と同じドライブに復元する事が出来ません。復元するファイルに応じた十分な空き容量のあるドライブが別途必要となります。

(1) Data Rescue PC の起動

(ア) CD-ROM から起動

Windows が起動できない、内蔵ディスク (起動ボリューム) 内のデータを復旧したい場合には、Data Rescue PC の CD-ROM から起動

- (1) CD-ROM ドライブに Data Rescue PC の CD をセットする
- (2) Windows をシャットダウンする
- (3) パソコンの電源を入れ、BIOS 設定を CD-ROM からブートするように設定

(4) Data Rescue PC を起動する



図1：CD からブート時の画面

(イ) 上記以外は、アプリケーションから起動

(1) インストール方法

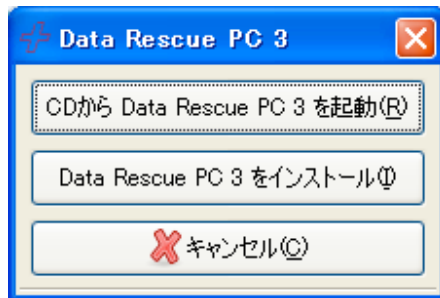


図2：インストール画面

(2) Data Rescue PC のスタート

(1) 登録コードの入力

お手元に登録コードをご用意下さい。コードは、
8100-1234-5678-9123-2
という形式です。

(2) Data Rescue PC のウィザードが起動

(3) 復元したいディスクの選択

(ア) スキャンするハードディスク (またはパーティション) を選択



図3：復元元パーティションの選択

注) 復旧元のパーティションを選択しないと、[クイックスキャン]が選択できません。
パーティションを選択しないと、強制的に[ディープスキャン]でスキャンします。

(4) スキャン方法の選択

スキャン方法は、データの消失の状況によって異なります。最も一般的な状況として、a) 削除したファイルの検出と b) Windows が立ち上がらないパーティションのファイルの検出があります。

a) のケースでは、ディープスキャンをお試し下さい。

b) のケースでは、まずはクイックスキャンをお試し下さい。結果をご覧いただき、希望するファイルを検出できるかどうかお調べ下さい。検出できなかった場合には、ディープスキャンを実行してみてください。

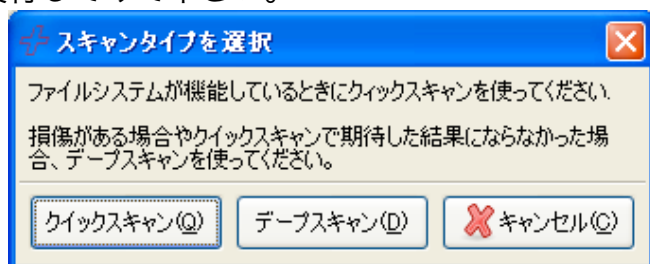


図5：スキャン方法の選択画面

なお、スキャン中は、次のようなバーでスキャンの進捗が表示されます。

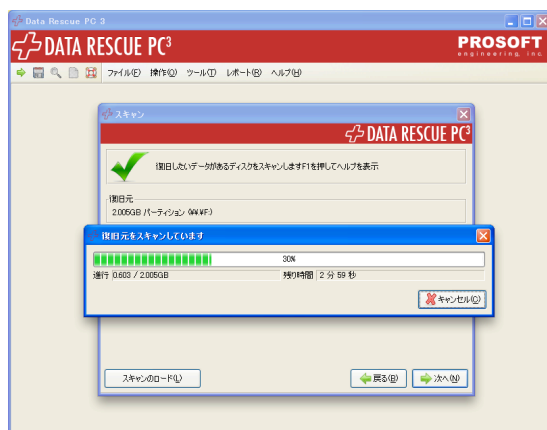


図6：スキャン中

Windows アプリケーションの場合、スキャン終了後、以下のようにスキャンファイルの保存場所を尋ねられます。

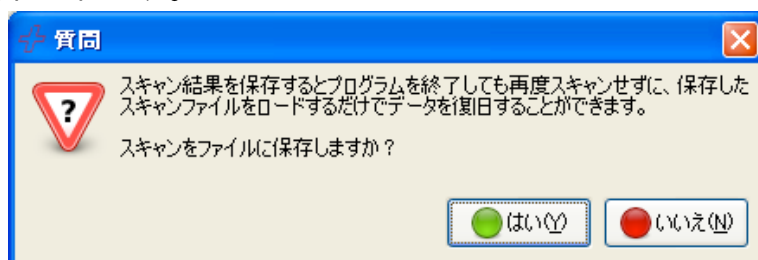


図7：スキャンファイルの保存。

スキャンファイルを保存すると、プログラムを停止した後で、再度復旧を行いたい時に、再び長時間のスキャンをせずともスキャンファイルをロードするだけで復旧ができますので、

必ず保存されることをお勧めします。

ブート CD から起動した場合は、スキャン後、メニューバーの操作->スキャン結果の保存、によりスキャンファイルを保存してください。

(5) ファイルの復旧方法

Data Rescue PC が見つけ出したファイルを選択して復元を行ないます。

(ア) パーティションを選択



図 8:パーティションの選択画面

(イ) スキャン結果の表示

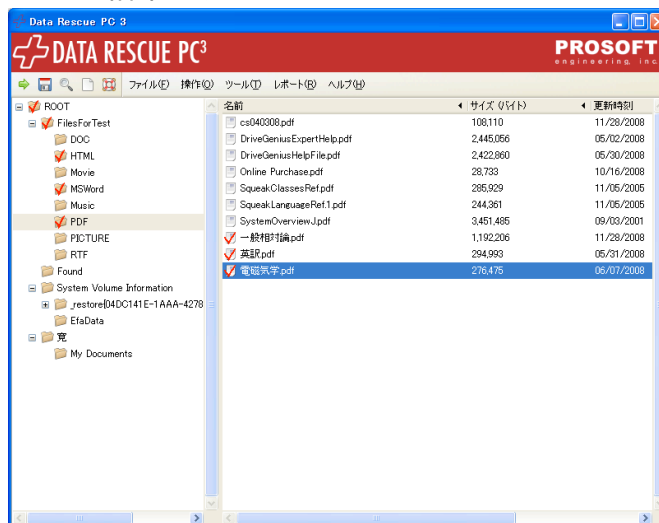


図 9 : スキャン結果表示画面

(ウ) 見つけ出したファイルを選択する/検索する

(1) 見つけ出したファイルを選択して、スペースキーを押して復旧したいファイルにチェックマークを付け、復旧対象として指定します。

- フォルダーごと復旧したい場合、フォルダー名を反転させ、スペースキーを押します。

- 特定のファイルを復旧したい場合、ファイル名を反転させ、スペースキーを押します。

(2) ツールメニューの「ファイルを検索」、「マスクでファイルを検索」、「状態でファイルをフィルター」によりファイル名 (の一部) やファイルの状態

でファイルを検索することができます。詳しくはヘルプをご参照ください。

(エ) 復旧

復元したいファイルの指定が完了したら、フロッピーのマークの復旧アイコンをクリックして、復元先を指定してファイルを復元します。

(オ) 復元開始を確認

(カ) 復元結果の確認

詳細につきましては、オンラインマニュアルをご参照下さい。

<サポート問い合わせ>

Data Rescue PC に関するお問い合わせは下記のいずれかの方法をご利用下さい。

お問い合わせ用 E-mail : support@igeekinc.com

FAX : 03-5701-0957

お問い合わせ内容には、必ずご利用の機種や OS、データを消失した原因、これまでに行なった作業内容などをできるだけ詳細にお書き下さい。また、エラーレポートが検出された場合は、添付してお送り下さい。

テクニカルサポート: 月曜日から金曜日の 9:30 – 17:30 (祝祭日を除く)

エンドユーザー・ソフトウェア使用許諾

本ソフトウェアを使用する前に、このソフトウェア使用許諾契約（以下、「使用許諾」）をよくお読みください。本ソフトウェアの使用により、お客様は本使用許諾の条項による拘束に同意することになります。本使用許諾の条項に同意できない場合は、本ソフトウェアをその購入先に速やかに返却して払い戻しを受けてください。

1. 使用許諾 本使用許諾が付属するソフトウェアおよびすべてのフォント（以下、「Prosoft ソフトウェア」）は、ディスク、読み取り専用メモリ、その他のいかなる媒体上のものであれ、Prosoft engineering, inc.（以下、「Prosoft」）がお客様に、販売するものではなく、使用を許諾するものです。お客様は、Prosoft ソフトウェアが記録されているメディアの所有権を持ちますが、Prosoft ソフトウェアに対する権利は、Prosoft および/または Prosoft の使用権許諾者が保持します。本パッケージ内の Prosoft ソフトウェア、および本使用許諾に基づいて作成されたすべての複製物には、本使用許諾の効力が及びます。

2. 使用方法および制約事項 本使用許諾は、Prosoft ソフトウェアを購入したエンドユーザが自らの所有するあらゆるコンピュータ上での当該ソフトウェアのインストールおよび使用を認めています。ただし、本使用許諾は、Prosoft ソフトウェアが同時に 2 台以上のコンピュータ上に存在することを認めていません。お客様は、バックアップの目的に限り、Prosoft ソフトウェアの複製物を機械による読み取りが可能な形で 1 部作成できます。このバックアップコピーには、元のソフトウェアに含まれるすべての著作権情報を含めなければなりません。適用法および本使用許諾によって認められる場合を除き、Prosoft ソフトウェアの逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、変更、レンタル、リース、貸与、頒布、再使用許諾、その派生物の作成、およびネットワークを介した送信を行ってはなりません。ただし、関連文書、本使用許諾、および Prosoft ソフトウェアの複製物 1 部を本使用許諾の条項の受け入れに同意する者に譲渡すること、お客様の所有する、当該 Prosoft ソフトウェアの他のすべての複製物を廃棄することを条件に、本使用許諾に基づく権利を譲渡できます。お客様が本使用許諾の条項にどれか 1 つでも違反した場合、本使用許諾に基づくお客様の権利は、

Prosoft からの通知なしに自動的に解除されます。

3. 媒体に対する保証の制限 Prosoft は、通常の使用条件下において、最初の購入日から 90 日間、Prosoft ソフトウェアの記録されている媒体に素材上および製造上の欠陥がないことを保証します。この条項に基づくお客様の救済措置は、Prosoft または Prosoft が認めた代理人に領収書を添えて返却された Prosoft ソフトウェアを含む製品の購入代金の払い戻し、または 当該 Prosoft ソフトウェアの交換に限定され、その選択は、Prosoft の裁量によるものとします。商品性ならびに特定の目的に対する十分な品質および適合性など、上記メディアに対するこうした制限付き保証ならびにすべての黙示的保証および条件は、最初の購入日から 90 日間に限定されます。司法管轄区によっては黙示的保証期間の制限が認められていないため、この制限が適用されないこともあります。ここで述べた制限付き保証は唯一の保証であり、口頭によるか書面によるか、明示的であるか黙示的であるかにかかわらず、他のすべての保証に代わるものです。Prosoft は、その他すべての保証を明確に否認します。この制限付き保証はお客様に一定の法的権利を付与するものであり、司法管轄区によって異なる他の権利が与えられることもあります。

4. Prosoft ソフトウェアに関する保証の免責 お客様は、Prosoft ソフトウェアを自己の責任で使用することを明確に認識し、同意するものとします。Prosoft ソフトウェアは何の保証もなく「現状有姿」のまま提供されるものとし、Prosoft およびその使用権許諾者（第 4 条および第 5 条では便宜上、双方をまとめて「Prosoft」と呼びます）は、商品性および特定の目的に対する適合性の黙示的保証など、すべての明示的または黙示的保証を明確に否認します。Prosoft は、Prosoft ソフトウェアに含まれる機能がお客様の要件を満たすこと、Prosoft ソフトウェアの動作に支障や誤動作が生じないこと、今後 Prosoft ソフトウェアの欠陥が訂正されること、のいずれも保証いたしません。また、Prosoft は、Prosoft ソフトウェアもしくは関連文書の使用、またはその結果に関し、正当性、的確性、信頼性、もしくはその他の点についての保証またはいかなる表明も行いません。Prosoft または Prosoft が認めた代理人による口頭もしくは書面でのいかなる情報または助言も、新たな保証を生み出すものではなく、またいかなる場合も上記の保証の範囲を拡大するものでもありません。万一、Prosoft ソフトウェアに欠陥があることが判明した場合は、（Prosoft または Prosoft が認めた代理人ではなく）お客様が、必要なすべてのサービス、修理、または修正の全費用を負担するものとします。司法管轄区によっては黙示的保証の免責が認められていないため、上記の免責事項が適用されないこともあります。

5. 責任の制限 過失を含むいかなる事情であっても、Prosoft は、本使用許諾に起因または関連するいかなる付随的、特別、間接的、または結果的損害についても責任を追いません。司法管轄区によっては付随的または結果的損害についての責任の制限が認められていないため、この制限事項が適用されないこともあります。いかなる場合も、お客様の全損害に対する Prosoft の賠償責任は、当該 Prosoft ソフトウェアに対する本使用許諾に支払われた総額を超えないものとします。

6. 輸出規制法に関する保証 お客様は、アメリカ合衆国（以下、米国）の法律および 当該 Prosoft ソフトウェアが入手された司法管轄区の法律によって認められている場合を除き、Prosoft ソフトウェアの使用、また輸出や再輸出も行えません。具体的には（これに限定されるわけではありませんが）、いかなる Prosoft ソフトウェアも、(i) 米国の通商禁止国（またはその国民もしくは居住者）、または (ii) 米国財務省の特別指定国民のリストもしくは米国商務省の拒否命令表に記載のすべての者、に対する使用、また輸出や再輸出も行えません。Prosoft ソフトウェアの使用により、お客様は、上記いずれの国にも定住していないこと、そうした国の管理下でないこと、そうした国の国民または居住者でないこと、上記いずれのリストの該当者でもないことを表明し、保証するものとします。

7. エンドユーザが政府機関の場合 Prosoft ソフトウェアが米国政府機関に提供される場合、Prosoft ソフトウェアは、FAR の第 52.227-19 条に規定の「制限付きコンピュータソフトウェア」に分類されます。Prosoft ソフトウェアに対する米国政府機関の権利は、FAR の第 52.227-19 条に規定のとおりです。

8. 準拠法および可分性 本使用許諾には、米国およびカリフォルニア州の法律が適用されるものとします。何らかの理由で、管轄権を有する裁判所が本使用許諾のいずれかの条項またはその一部の効力を停止させた場合も、本使用許諾のその

他の部分の効力は完全に存続するものとします。

9. 完全合意本使用許諾 契約は、Prosoft ソフトウェアの使用に関する当事者間の完全な合意を構成するものであり、そうした主題に関する、本契約締結の以前または同時になされたいかなる了解事項よりも優先されます。本使用許諾に対する一切の修正または変更は、書面にしたうえで Prosoft によって署名されない限り、拘束力を持たないものとします。